

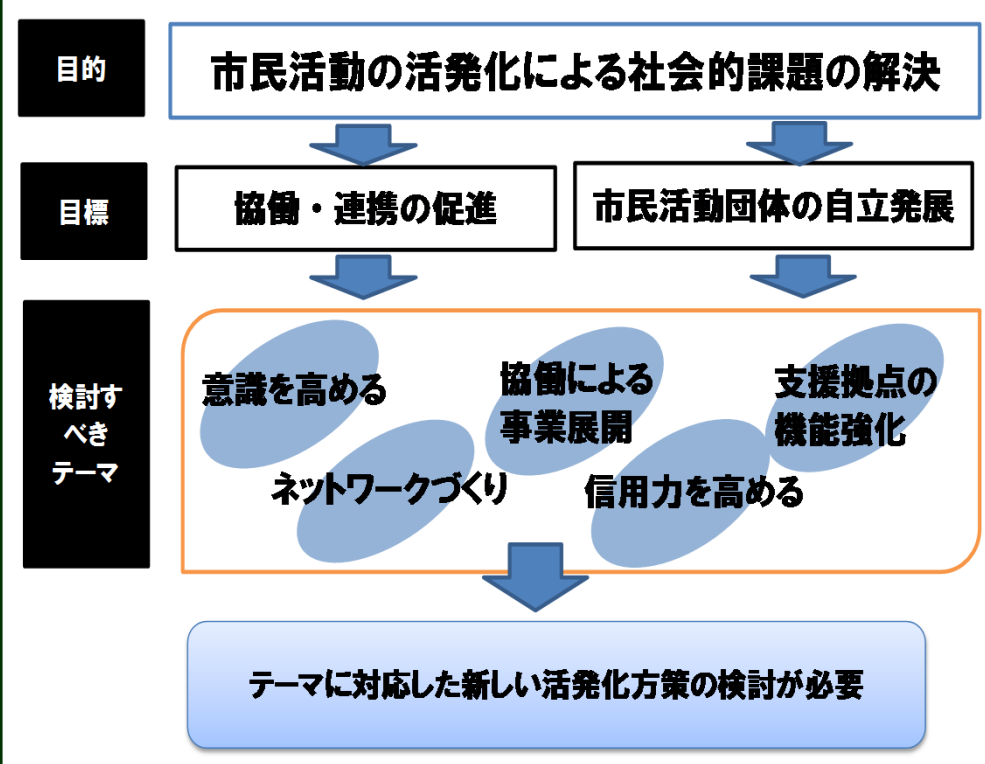
協働やろまい・なごやビジョン（仮称） 平成22年度の議論のとりまとめ（案）概要

背景と現状

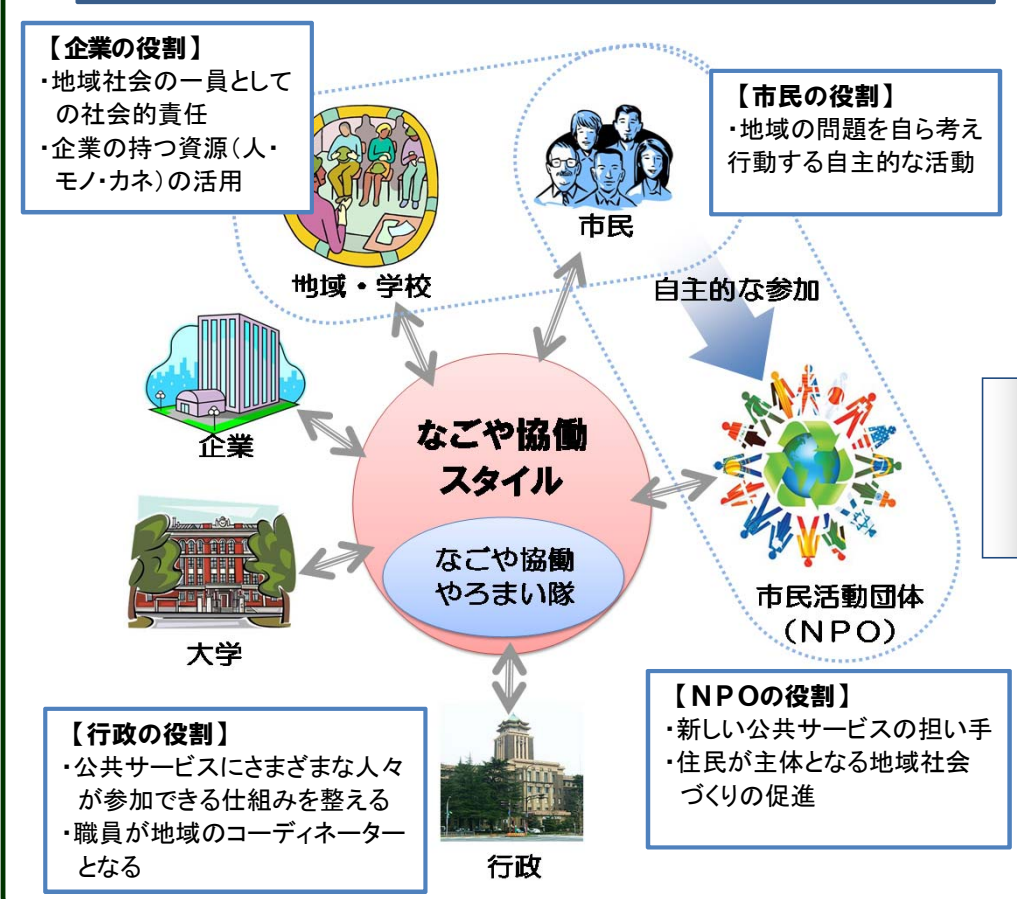
- 社会的背景**
 - ・少子・高齢社会、環境問題など新しい問題の顕在化
 - ・市民の社会サービスに対するニーズの多様化・個性化
 - ・行政コストの増大・財政の悪化
- 市民活動団体・NPO**
 - ・法人数が増え、活動も多様化
 - ・中間支援団体の充実
 - ・二極化の進展（事業型・草の根型）
- 行政**
 - ・行財政改革の推進
 - ・NPOへの委託、協力事例の増加
- 企業**
 - ・CSR活動の活性化
 - ・社員による地域活動の取組の拡大
- 地域・学校**
 - ・相互理解の不足
- 国等の動き**
 - ・認定NPO法人制度の改正
 - ・法人認証業務の指定都市移譲
 - ・新しいNPO法人会計基準
 - ・ISO26000発行

取り組みの基本方針

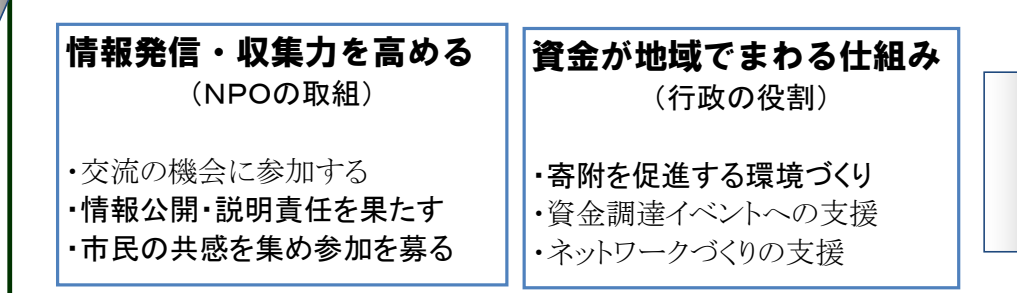
ビジョンのねらい
市民・NPO・企業・行政等が支えあい、地域社会の課題を解決していく姿をめざすため、主としてNPOや行政の果たすべき役割分担と行動すべき取組の方向性を示したものの。



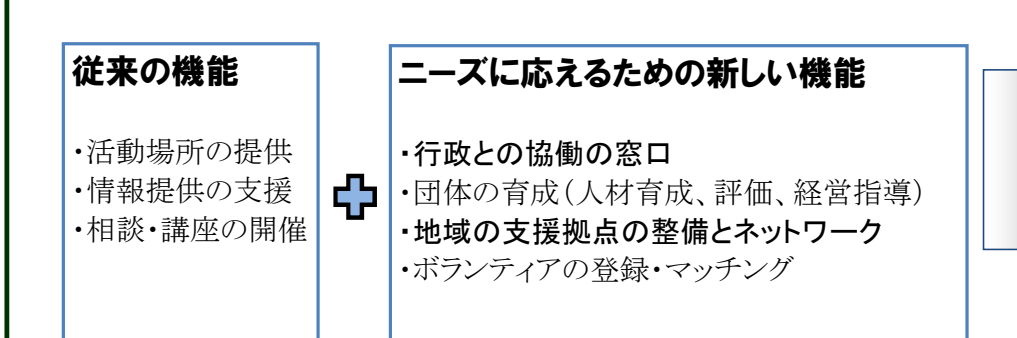
なごや協働スタイルを確立しよう ～協力して課題解決を図る名古屋独自の取組



市民活動団体・NPOも一歩踏み出そう ～自主的な取組の支援と環境づくり



市民活動推進センターの機能強化 ～協働による運営/地域の支援拠点の検討



取り組みの方向性

